

献辞

岡本善八先生がめでたく古稀をお迎えになりました。心からお慶びを申し上げるとともに、法学部からここに古稀のお祝いとしてこの論文集を献呈させて頂きます。

先生は、一九四七年に同志社大学に奉職されて以来、長い間、法学部での教育と研究に専念してこられました。そして多忙な教育と研究のかたわら、法学部長、就職委員長などを歴任され、学部と大学の発展のために心を尽くしてこられました。

先生のご研究の中心は商法と国際私法であり、先生がこれまで発表されてきた著書・論文は非常に数多くにのぼっています。先生の初期の研究で特筆されるのは、学会の動向に先んじていち早く人的閉鎖会社に注目され、その成果を『合名・合資会社法』（昭和三四年）としてまとめられたことです。これは、わが国における閉鎖会社研究の草分けとして今日でも、高く評価されているものです。また近年は、商法と国際私法の複雑に交錯する法分野に研究を拓げられ、多くの論文を発表されてきました。とくに「外国会社」に関する一連の研究は、先生が自ら開拓され、独自に構築された注目すべき業績と考えます。これらのすぐれた研究は、外国語の才能に恵まれ、外国法に精通した深い学識を兼ね備えたものだけが到達できる世界と考えます。

先生の温厚なお人柄だけでなく、研究者としての誠実で真摯な姿勢、学問に対するひたむきな態度は私たちにも印象深く残っています。先生は古稀を迎えられた後もなお、研究に邁進しておられます。本論文集の執筆者、そして同志社法学会会員一同とともに、岡本先生のこれからの一層のご健勝と、ご研究の発展をお祈り致したいと思います。

一九九六年一二月

深 田 三 徳

法学部長